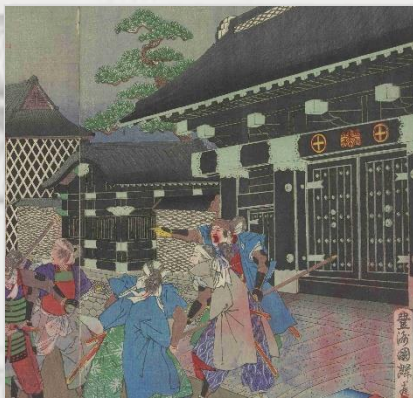


# 江戸と戊辰戦争

幕末維新史研究の最前線をゆく 3氏の講演会&シンポジウム



## 薩摩藩邸焼き討ち事件の再定義 —三田品川戦争への転換

戊辰戦争の緒戦であり、鳥羽伏見の戦いはその流れの中で勃発した当然の帰結と位置付け、「薩摩藩邸焼き討ち事件」と規定することは事実を矮小化することに繋がるため、「三田品川戦争」と呼称し直すことを提唱します。薩摩藩邸での戦闘、品川沖での海戦、南品川宿の大火災の実相に迫ります。

町田 明広さん 神田外語大学教授

講演 ①



歌川国輝「近世史略薩州屋敷焼撃之図」(一部) 東京都立中央図書館所蔵

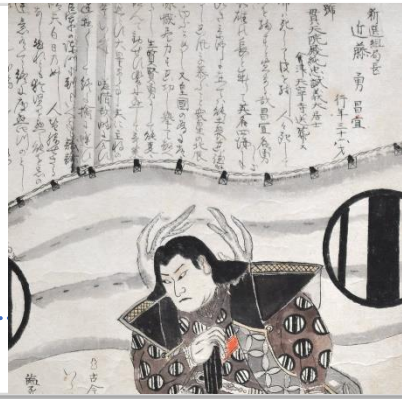
講演 ②



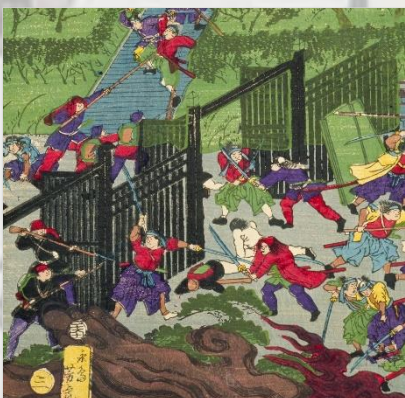
## 慶応4年上半期の新選組を 読み直す—鳥羽伏見・柏尾・流山

新選組を幕末政治史のなかに位置づける努力をしております。大政奉還・油小路の変・王政復古をへて、新選組がどのような環境のなかで行動しているのかを、近年の研究成果に導かれながら、関わった3つの内乱・事件を対象として考察します。

中村 武生さん 京都女子大学・大谷大学非常勤講師



中島登「戦友姿絵・近藤勇」(一部) 市立函館博物館所蔵



## 大村益次郎と上野戦争の実相

大村益次郎の「軍功」として人口に膾炙(かいしゃ)する上野戦争について、彼がどのような要素を考慮に入れつつ開戦時機を計り、結果として上野戦争の政治的勝利の要因になったのかという問題について検討したいと思います。また、徹頭徹尾新政府軍の完全勝利とする後世の評価について、軍事史研究の立場から再検証します。

竹本 知行さん 安田女子大学教授

講演 ③



永島芳虎、永島孟斎「東台大戦争図」(一部) 国立国会図書館所蔵

## 第2部・シンポジウム

### 江戸と戊辰戦争～幕末維新史研究最前線

江戸は徳川公儀の統治が始まって以降、武家の首都であり、政治の中心地でありました。それから約250年、慶応4年4月11日の江戸城明け渡しによって、徳川公儀は消滅します。直接的な瓦解のはじまりからその終焉までを「慶応3年末～4年の江戸」を中心に、3氏と探求します。

[コーディネーター] 朝山 大吾 (幕末ファシリテーター・よみうりカルチャー)

2025.2.16 (日)

11時50分～16時30分 開場11時30分

[参加費] 会場 5,500円 オンライン 4,950円

[会場] 読売新聞東京本社3階「新聞教室」  
地下鉄「大手町駅」C3出口直結

[会場定員] 60人(申込先着順受付) オンライン200人

●両講座とも詳細・申込み方法はQRコード(よみカルHP)から

会場参加

オンライン参加

復習配信あり

前日開催

3氏と行くスペシャル巡検!  
「上野プラタケ・アキ・トモ」



上野公園「彰義隊墓」イメージ

抽選  
30人

[日時] 2月15日(土) 14時不忍池集合・17時30分ごろ南千住駅解散【参加費】4,500円(イヤホンガイド付き)  
[定員] 30人・1月6日申し込み締切。その後に抽選。  
\*2/21からの「シン広島山口ツアー」参加者は申し込み時点で当選確定

読売・日本テレビ文化センター

よみうりカルチャー

問い合わせ ☎03・3642・4301

担当:朝山(新選組幕末講座担当)

